

Elazzo

SEAT COVER



TOYOTA **YARIS** **YARIS HYBRID**

専用シートカバー取付説明書

1125/1126/1138/1139

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

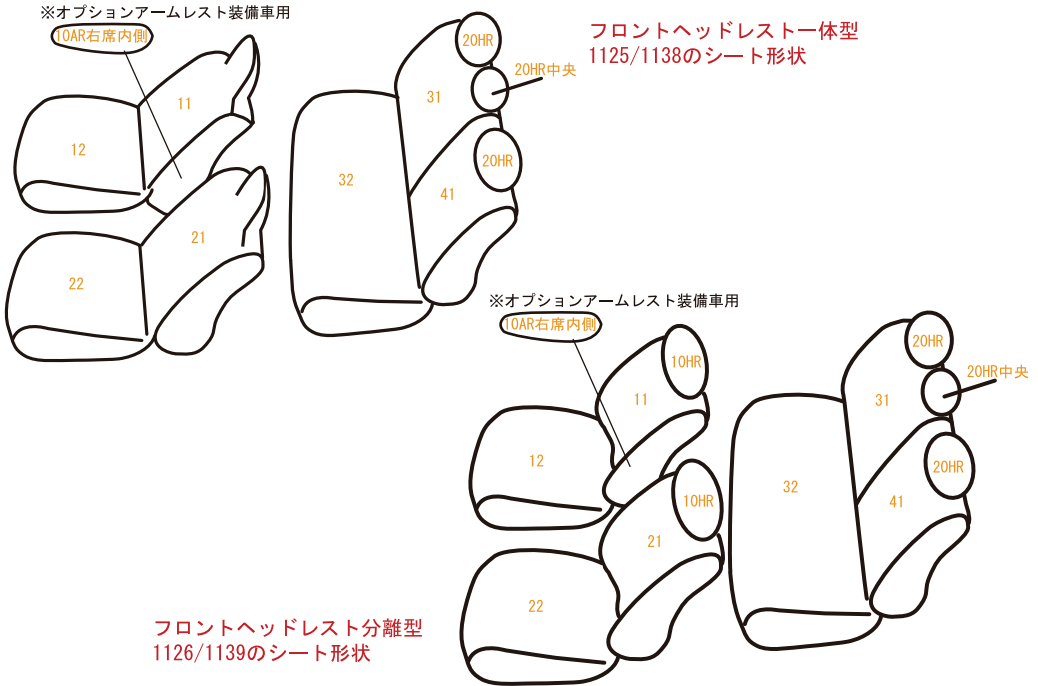
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

- シートカバー装着前の注意事項 ……> 1P～2P
- 警告 サイドエアバッグについて ……> 3P～4P
- 1列目座面の装着方法 ……> 5P～7P
- 1列目背もたれ（ヘッドレスト一体型）の装着方法 ……> 8P～9P
- 1列目背もたれ（ヘッドレスト分離型）の装着方法 ……> 10P～12P
- 2列目座面の装着方法 ……> 13P～15P
- 2列目座面の外し方 ……> 16P
- 2列目背もたれの装着方法 ……> 17P～18P
- ヘッドレストの装着方法 ……> 19P～20P
- オプション・アームレストの装着方法 ……> 21P～22P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 ……> 23P～24P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 ソケットレンチ(ソケット : 14mm)※オプションのアームレスト装備車のみ使用します
- 2 プラスドライバー(No. 2)※オプションのアームレスト装備車のみ使用します
- 3 クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

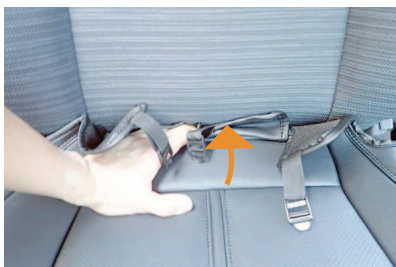
Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

1 列目座面の装着説明では、ヘッドレスト分離型のシートを使用しています。ヘッドレスト一体型のシートも座面のシート形状は一部異なりますが、同様の固定方法でカバーの装着を行って下さい。



- 1 始めにシートの背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムを引っ掛けて固定されています。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 2 シートリフターでシートを一番高い状態に調整してカバーの装着を行います。
①シートの前側にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。②そこからシートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。
※助手席買物アシストシート車は 17番を併せて確認して下さい。



- 5 シートの背面から生地を引き出します。この際、生地の分かれ目でサイドエアバッグやシートヒーターの配線をかわすようにして下さい。



- 3 シートベルトのバックルをカバーの加工穴に通します。



- 6 シート外側の部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 7 シートの付け根側も部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。

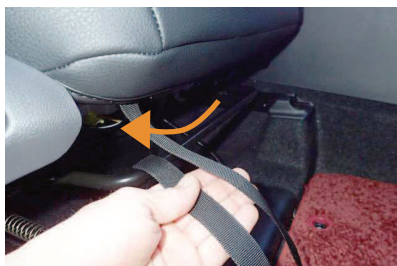


シートの前側から内側を写した図

- 10 8番②のマジックテープをシートの端に直接貼り付けて固定します。



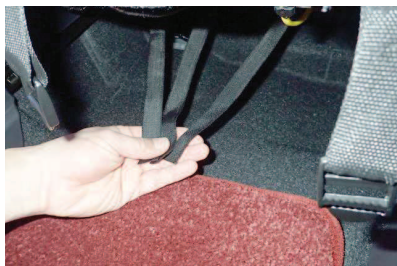
- 8 シート内側のカバーの裏には2か所マジックテープが付いています。まず①部分のマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。
※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外して下さい。



- 11 カバーの前側には4本のベルトが付いています。ベルトをスライドレバーの上を通してシートの背面に入れ込みます。この際ベルトはシート裏にある、あらゆるパーツの上を、できる限り通すようにして下さい。
※助手席買物アシストシート車はシートアンダートレイのレールの上にベルトを通すようにして下さい。



- 9 シート内側のカバーを、シートとコンソール部分の隙間に入れ込みます。



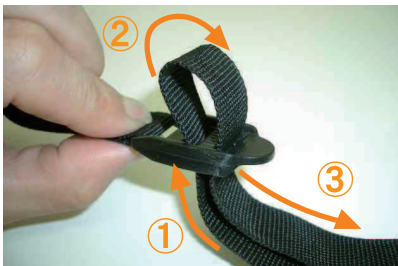
- 12 入れ込んだベルトをシートの背面から引き出します。



- 13 引き出したベルトを5番で引き出した生地についているバックルに通します。



- 16 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。
フロントヘッドレスト一体型のシートは、助手席も同様に取り付けます。



- 20 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引くと縫製糸が切れて、ベルトが抜けてしまう恐れがあるので注意して下さい。



- 17 助手席買い物アシストシート車は、シート前側のプレートとシートの内側にカバーを通して装着を行って下さい。
またシート裏側のシートアンダートレイは引き出して作業を行うようにして下さい。



- 15 シートの背面は図のようになります。



- 18 運転席と同様にカバーの装着を行います。
カバーのラインを整えて、助手席買い物アシストシートの完成です。

Step 2

…> 1 列目背もたれの装着方法 (ヘッドレスト一体型)



注意

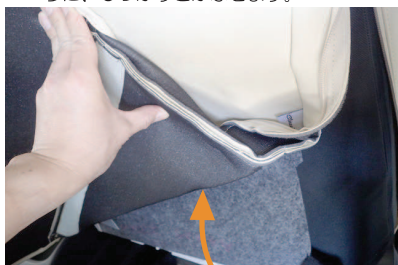
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

ヘッドレスト分離型の1列目背もたれの装着説明は、10ページから確認して下さい。

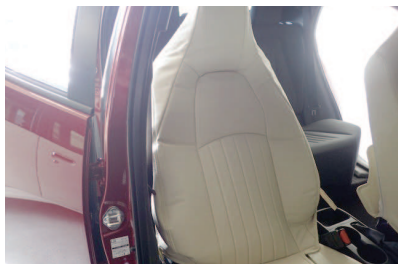
※オプションのアームレスト装備車はアームレストをシートから外して背もたれカバーの取り付けを行います。背もたれカバーを装着する前に（オプションのアームレスト装備車は）、21ページから記載しているオプションアームレストの装着方法を併せて確認して下さい。



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、カバーの装着を行います。まずヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの内側へ入れ込みます。



- 3 シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 5 生地の両端に付いているマジックテープはシート両端の隙間が狭いため、いったんシート中央へ寄せます。シートの中央からマジックテープを入れ込みます。この際、マジックテープがねじれないように注意して下さい。



- 8P▶ 6 入れ込んだ生地・マジックテープをシートの背面から引き出します。マジックテープはいったん中央から引き出して、その後配線をかわしながらスライドさせるように端へ寄せていきます。



- 7 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を6番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 8 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。
ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 9 6番で引き出した生地とマジックテープをカバー背面下の裏側に付いているマジックテープと固定します。



サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 10 カバーの背面下にはゴムが付いています。ゴムをシート裏の5ページ1番で外した純正シート地を固定していたフック部分に引っ掛けて固定します。
※商品にはゴムを固定する為に使用する金属フックが付属していますが、使用しなくても固定できます。



- 11 図のヘッドレスト下側は、シートの形状ではかなりくぼんでいますが、シートカバーでは固定時に上下に生地を引っ張るため、この形状をシートカバーで正確に反映させることは難しくなっています。



- 12 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 2

1列目背もたれの装着方法 (ヘッドレスト分離型)



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

※オプションのアームレスト装備車はアームレストをシートから外して背もたれカバーの取り付けを行います。背もたれカバーを装着する前に（オプションのアームレスト装備車は）、21ページから記載しているオプションアームレストの装着方法を併せて確認して下さい。



- 1 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、カバーの装着を行います。シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 2 5ページ1番で外した生地を、めくり上げてカバーの内側へ入れ込みます。



- 3 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 4 生地の伸びを利用して台座を全て取り出します。
※革を使用したカバーでは、加工穴の端が裂けてくることがあります。慎重に作業を行っていただくことで、台座の大きさ以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 5 背もたれと座面の隙間に端にフックの付いた生地を入れ込みます。



- 6 カバー両端のマジックテープが付いた生地を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。こちらは隙間が大変狭くなっています。入れ込み辛い場合はヘラなどを使用して生地を入れ込んで下さい。ヘラで強く押しすぎると生地に傷が付く場合があります。作業は慎重に行ってください。



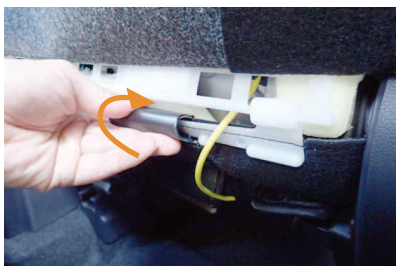
- 7 シートの背面から生地を引き出します。この際、5ページ5番を参考に生地の分かれ目でサイドエアバッグやシートヒーターの配線をかわすようにして下さい。



- 10 ファスナーの端をカバーの内側へ入れ込みます。



- 8 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を7番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 11 7番で引き出した生地についているフックを、純正シート地を固定しているプラスチックパーツに引っ掛けて固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 9 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 12 フックを固定すると図のようになります。



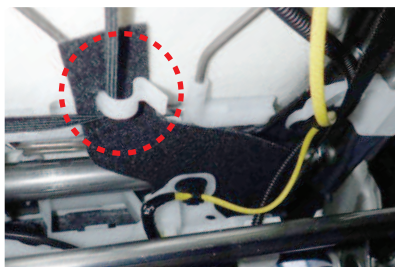
- 13 7番で引き出した両端の生地についているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 14 シートの背面は図のようになります。



- 15 カバーの背面下にゴムが付いています。



- 16 ゴムをシート裏の5ページ1番で外した純正シート地を固定していたフック部分に引っ掛けて固定します。
※商品にはゴムを固定する為に使用する金属フックが付属していますが、使用しなくても固定できます。



- 17 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…→ 2列目座面の装着方法

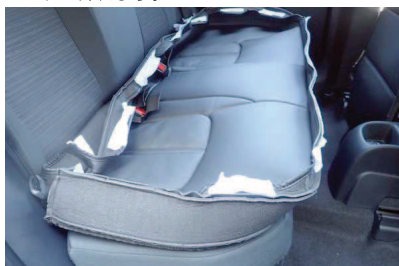
2列目座面の装着説明では、ハイブリッド車のシートを使用しています。
ガソリン車もシート形状は一部異なりますが、同様の固定方法でカバーを装着して下さい。
※2列目座面はシートを車体から外してカバーを装着することも可能です。シートの外し方は16ページを参考にして下さい。



- 1 始めに中央のシートベルトをバックルから外します。
バックルの図の赤い部分をヘラなどを使用して押すと、ロックが解除されシートベルトが外れます。



- 4 シートの軸部分の端です。こちらは生地が反り返ることがあります。ヘラなどを使用して生地を整えます。



- 2 カバーを図のように裏返して、シートのラインに合わせます。



- 5 シート中央の付け根部分にカバーをかぶせていきます。

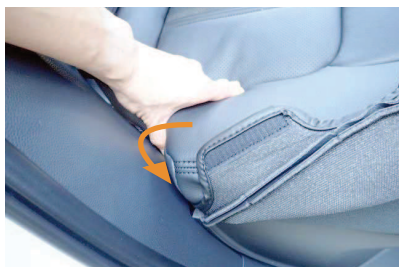


- 3 シートの付け根部分からカバーをかぶせていきます。
背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。

Point
! ※この際、シートの付け根のラインがずれないようにカバーをかぶせていくようにして下さい。



- 6 シートの付け根全体にカバーをかぶせると図のようになります。



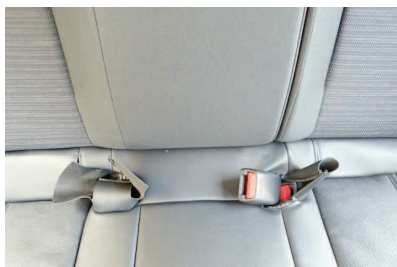
- 7 シート付け根部分の生地を図のように入れ込みます。生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 8 カバー側面の生地をシートを包み込むようかぶせていき、シートの裏へ生地を入れ込みます。シート自体を上へ浮かせながら隙間に生地を入れ込み、生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 9 図はシートの前側です。シートを包み込むようにカバーをかぶせていき、シート裏へ生地を入れ込みます。シート側面と同様にシート自体を上へ浮かせながら隙間に生地を入れ込み、生地の端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 10 シートベルトのバックル部分です。シートベルトバックルの出ているフチに生地を入れ込みます。カバーの加工穴の位置とシートベルトバックルの位置がずれている場合は、カバーの装着位置を調整して下さい。



- 11 運転席側の前側のみ、図のような固定部材が付いています。



- 12 ヘラなどを使用して生地を収納部の周りに入れ込みます。



13 運転席側は図のように収まります。



16 中央のシートベルトバックルを頻繁に使用されない場合はカバーの内側へ入れ込んでおきます。加工穴はさほど大きくない為、生地を少し持ち上げながらバックルを入れ込みます。



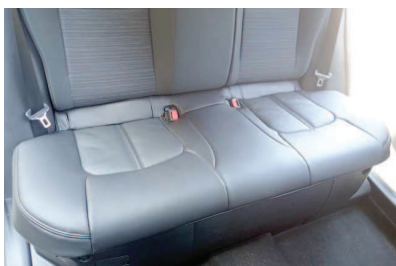
14 助手席側も同様に生地を入れ込みます。



17 中央のシートベルトバックルを入れ込むと助手席側は図のようになります。



15 中央のシートベルトを頻繁に使用する場合は、図のようにシートベルトバックルを出した状態にしておきます。



18 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。ガソリン車も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

…→ 2列目座面の外し方

2列目座面のシートカバーは、シートを車体から外してカバーを装着することも可能です。シートを外す作業はかなりの力が必要となるため、外さず装着できる仕様になっていますが、シートを外せる方は外した方が作業が行いやすくなります。



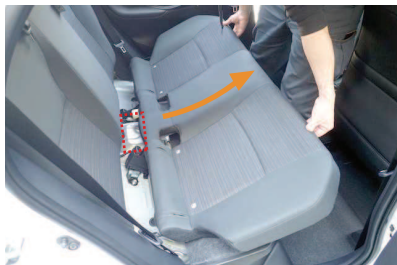
- 1 シートは車体側にシート裏のフックを引っ掛けて固定してあります。フックはシートの前側に2か所あります。シートの裏側に指を入れて、シート裏のフックの位置を確かめます。図の指を差している位置の裏辺りにフックがあります。フックの位置は3番の図からも確認できます。



- 2 フック付近のシートの裏をしっかりと掴みゆくりと力を込めながらシートを真上に持ち上げます。フックが外れるときは体が一瞬浮きそうになるぐらい勢いよく外れます。怪我をされないように作業は慎重に行ってください。



- 3 前側2か所のフックが外れると図のようになります。シートの裏側にフックが、車体側にフックの受けがあります(赤丸印)。



- 4 シートの前側を少し浮かせた状態で手前に引くとシートの付け根側にあるフックが外れます。シートは作業の行いやすい場所へと慎重に運び出して下さい。



- 5 ガソリン車のシートです。カバーの装着方法は13ページ2番から14ページ9番までを参考に、シートを外した状態でカバーを装着していきます。ここまでカバーを装着出来たら、背もたれカバーを装着後、シートを車体に戻して下さい。



- 6 ガソリン車は外したシートを車体へ固定する作業が、少々難しくなっています。前側のフックをはめようとしてもクッションに厚みがあるため、真上から押し込んで力を吸収されてしまい、なかなか固定できません。フックをはめるコツとして、図のようにフロントシートの背面に体を付けて、フックの付近をより力が入る膝などで押し込むことで、力が伝わり固定できます。

Step 4

…→ 2列目背もたれの装着方法



- 1 最初に13ページ1番で外した中央のシートベルトをカバーの加工穴に通します。



- 4 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 2 カバーのファスナーを開いた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



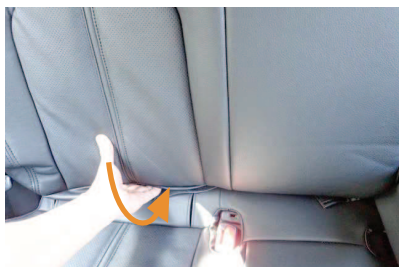
- 5 ヘッドレストの台座を全て取り出します。



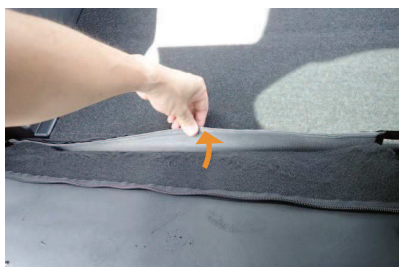
- 3 シートベルトが出ているプラスチックパーツのフちに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。こちらは力を入れすぎるとプラスチックパーツのツメが破損する恐れがあるので、作業は慎重に行ってください。



- 6 リクライニングレバー部分のフちに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。隙間が大変狭くなっています。作業は慎重に行ってください。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 8 シートを前に倒して入れ込んだ生地を背面から引き出します。
この際デッキボードが装備されている車はデッキボードを外しておくか、後方へずらすなどしておくとう作業が行いやすくなります。



- 9 カバー側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 10 8番で引き出した生地の端に付いているファスナーと、カバーの背面下に付いているファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 11 カバーのラインを整えて、運転席側背もたれの完成です。



- 12 助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 5

…→ヘッドレストの装着方法

1 列目・2列目両端ヘッドレスト



- 1 始めにカバーの入り口を図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張る様にしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



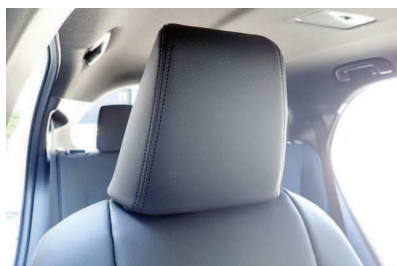
- 3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 4 ブラックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 5 ブラックを固定すると、ヘッドレストの裏側は図ようになります。
※図のヘッドレストは2列目両端のヘッドレストです。



- 6 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
2列目両端のヘッドレストも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

2列目中央ヘッドレスト



- 7 2列目中央のヘッドレストは図のようにヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにして、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 8 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いマジックテープ同士を固定します。
この後1列目ヘッドレストと同様にブラックを固定します。

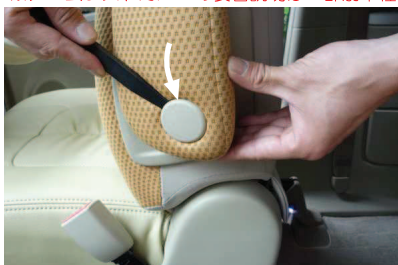


- 9 カバーのラインを整えて、2列目中央ヘッドレストの完成です。

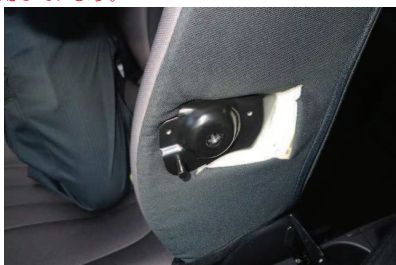
Step 6

…→オプション・アームレストの装着方法

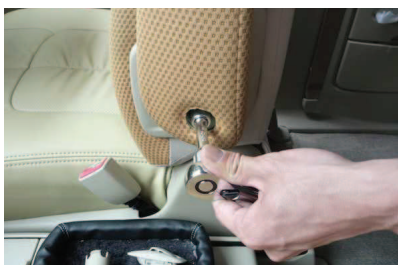
オプションのアームレストを装備されている方のみ確認して下さい。
※アームレストカバーの装着説明は一部別車種の画像を使用しています。



- 1 運転席背もたれのシートカバーを装着する前にアームレストをシートから外します。アームレストの軸部分にあるキャップをへらなどを使用して外します。



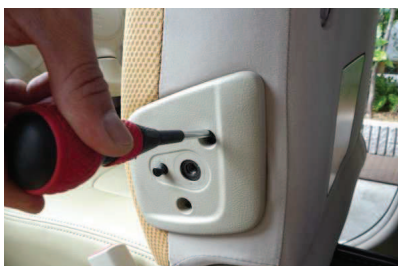
- 4 プラスチックパーツを外すと図のようになります。この状態から運転席背もたれのシートカバーを装着します。



- 2 アームレストはボルトで固定されています。ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは1.4mmを使用します。



- 5 運転席背もたれのシートカバーを装着した後、軸部分の生地を切り取り、図のように穴を開けます。穴は必要以上に大きく開けないように、またシート表皮を傷付けたりしないように作業は慎重に行ってください。



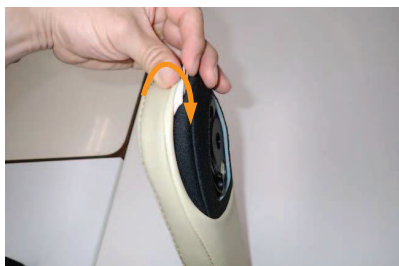
- 3 ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。次に背もたれ側に付いているプラスチックパーツを外します。プラスチックドライバーを使用してネジを2本外します。



- 6 3番で外したプラスチックパーツを生地を挟み込み元に戻します。



- 7 アームレストにカバーを装着します。カバーを図のように裏返して、大きい方の穴からカバーをかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせます。



- 8 アームレストのラインに合わせてカバーを全体にかぶせます。アームレストの内側に生地を引っ掛けるようにかぶせます。



- 9 アームレストの全体にカバーをかぶせると後ろ側は図のようになります。



- 10 アームレストの外側は図のようになります。1番で外したキャップはアームレストをシートに固定した後、生地を挟み込み元に戻します。



- 11 アームレストをシートに固定します。カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

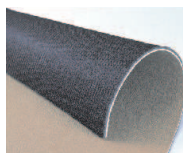


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、柔らかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816